

## 第4期福島県がん対策推進計画 指標一覧

※目標値の一部の目標年について、他計画（健康ふくしま21計画等）と調和を図るために、R11以降の目標年となっています。

### がんの1次予防

	目標項目		現況値		目標値		出典
最終アウトカム 指標	がんの年齢調整罹患率		R1	382.1	R14	358.6	全国がん登録
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）		R3	74.1	R12	57.67	人口動態統計
分野別アウトカム 指標	がん種別年齢調整罹患率	胃がん	R1	54.1	モニタリング指標		全国がん登録
		肺がん	R1	39.5			
		大腸がん	R1	57.8			
		乳がん（女性）	R1	92.6			
	がん種別年齢調整罹患率 （肝、子宮頸部）	子宮頸がん	R1	14.1			全国がん登録
		肝がん	R1	10.3			
中間アウトカム 指標	成人一日当たりの食塩摂取量	男性	H28	11.9g	R14	7.5g	国民健康・栄養調査
		女性	H28	9.9g	R14	6.5g	
	成人1日あたりの野菜摂取量	男性	H28	347g	R14	350g	国民健康・栄養調査
		女性	H28	314g	R14	350g	
	運動習慣のある者の割合	男性	R4	23.1%	R14	30.0%	健康ふくしま21調査
		女性	R4	15.2%	R14	20.0%	
	生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している者の割合	男性	R4	19.6%	R9	11.0%	健康ふくしま21調査
		女性	R4	6.7%	R9	5.0%	
	成人喫煙率	総数	R4	21.4%	R12	12.0%	国民生活基礎調査
		男性	R4	33.2%	R12	19.0%	
		女性	R4	10.5%	R12	5.4%	
		喫煙者のいない世帯の割合	R4	69.4%	R14	85.0%	健康ふくしま21調査
		妊娠中の喫煙	R4	1.9%	R11	0%	母子保健に関する実施状況等調査
		特定健診のメタボリックシンドローム該当者及び予	R3	31.9%	R12	21.0%	特定健康診査・特定保健指導
		B型肝炎ウイルス検査受検率 （健康増進事業における40歳検診受検率）	R3	7.2%	R11	モニタリング指標	地域保健・健康増進事業報告
		C型肝炎ウイルス検査受検率 （健康増進事業における40歳検診受検率）	R3	7.2%	R11	モニタリング指標	地域保健・健康増進事業報告
		B型肝炎ウイルス陽性者数	R3	96人	R11	モニタリング指標	「地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）」及び「特定感染症検査等事業実績報告」
		C型肝炎ウイルス陽性者数	R3	27人	R11	モニタリング指標	「地域保健・健康増進事業報告（健康増進編）」及び「特定感染症検査等事業実績

がんの2次予防

	目標項目		現況値		目標値		出典
最終アウトカム 指標	がんの年齢調整死亡率 (75歳未満、全年齢)		R3	74.1	R12	57.67	人口動態統計
	がんの年齢調整罹患率		R1	382.1	R14	358.6	全国がん登録
分野別アウトカム 指標	検診がん種別 早期がん割合	胃がん	調整中				全国がん登録
		肺がん					全国がん登録
		大腸がん					全国がん登録
		乳がん					全国がん登録
		子宮頸がん					全国がん登録
	検診がん種別 進行がん罹患率	胃がん	調整中				全国がん登録
		肺がん					全国がん登録
		大腸がん					全国がん登録
		乳がん					全国がん登録
		子宮頸がん					全国がん登録
中間アウトカム	がん検診受診率	胃がん	R4	34.1%	R14	60.0%以上	生活習慣病検診等管理指導協議会資料（健康増進事業実績報告を活用した県独自集計）
		肺がん	R4	32.8%	R14	60.0%以上	
		大腸がん	R4	30.3%	R14	60.0%以上	
		乳がん	R4	48.4%	R14	60.0%以上	
		子宮頸がん	R4	46.2%	R14	60.0%以上	
	精密検査受診率	胃がん	R3	88.9%	R14	100%	生活習慣病検診等管理指導協議会資料（健康増進事業実績報告を活用した県独自集計）
		肺がん	R3	85.8%	R14	100%	
		大腸がん	R3	73.1%	R14	100%	
		乳がん	R3	91.3%	R14	100%	
		子宮頸がん	R3	85.4%	R14	100%	
	がん発見率	胃がん	R3	0.40%	R14	0.11%以上	生活習慣病検診等管理指導協議会資料（健康増進事業実績報告を活用した県独自集計）
		肺がん	R3	0.07%	R14	0.03%以上	
		大腸がん	R3	0.17%	R14	0.13%以上	
		乳がん	R3	0.22%	R14	0.23%以上	
		子宮頸がん	R3	0.02%	R14	0.05%以上	

がん医療

	目標項目	現況値		目標値		出典
最終アウトカム	がんの年齢調整死亡率 (75歳未満、全年齢)	R3	74.1	R12	57.67	全国がん登録都道府県別死亡データ（都道府県別、年別、性別、悪性新生物75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対））
	がん種別5年生存率	R1	59.2%	R11	64.1%	福島県のがん登録2019、地域がん登録によるがん生存率データ（1993年～2011年診断例）（5年生存率）
	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	H30	72.7%	R11	75%	患者体験調査（問35-7）都道府県別結果
	希少がんの5年生存率	H29	48.5% (欧州の例)	R11	モニタリング指標	「希少がん対策」厚生労働省希少癌診療ガイドラインの作成を通じた医療提供体制の質向上
	希少がん患者の現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合	H30	69.2%	R11	70%	患者体験調査（問35-7）全国値
	難治性がん（代表例：膵がん）の年齢調整死亡率（人口10万対）男性	R元	11.3	R11	5	福島県のがん登録2019
	難治性がん（代表例：膵がん）の年齢調整死亡率（人口10万対）女性	R元	9.1	R11	4.5%	福島県のがん登録2019
	難治性がん（膵がん）の5年相対生存率	R元	7.9%	R11	8.9%	福島県のがん登録2019
	難治性がん（膵がん）の5年相対生存率	R元	8.1%	R11	8.1%	福島県のがん登録2019
	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	H30	72.1%	R11	75%	患者体験調査（問15-1）都道府県別結果
分野別アウトカム指標	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	H30	8.4点	R11	8.5点	患者体験調査（問23）都道府県別結果
	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	H30	75.9%	R11	80%	患者体験調査（問30-1）都道府県別結果
	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	H30	52.2%	R11	50%	患者体験調査（問36-2）都道府県別結果
	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	H30	67.1%	R11	50%	患者体験調査（問36-4）都道府県別結果
	療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合（死亡間和1週間の苦痛症状）	H30～R	28.7%	R11	20%	遺族調査（問C）全国値
	希少がんについて、専門的な医療を受けられたと感じている患者の割合	H30	80.0%	R11	85%	患者体験調査（問20-8）全国値
	小児がん患者のがんの診断・治療全般の総合評価（平均点又は評価が高い割合）	R元	8.4点	R11	8.5点	小児患者体験調査（問25）全国値
	若者がん患者の診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	H30	7.8点	R11	8点	患者体験調査（問23）全国値
治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	H30	72.1%	R11	80%	患者体験調査（問15-1）都道府県別結果	

中間アウトカム 指標	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	H30	— (項目無)	R11	50%	患者体験調査 (R5調査 問27)
	初診時から確定診断までの期間が1ヶ月未満の人の割合	H30	75.8%	R11	80%	患者体験調査 (問10) 都道府県別結果
	がんゲノム医療連携病院において遺伝性腫瘍に関する遺伝カウンセリングを実施した患者の数：遺伝性	R5	377件	R11	400件	現況報告書 (がんゲノム) 様式4 診療実績
	5大がんの術後短期死亡率〔全国値〕	R3	0.25%	R11	モニタリング指標	院内がん登録
	拠点病院における放射線治療の実施割合	R3	11.7%	R11	モニタリング指標	院内がん登録
	拠点病院における薬物治療の実施割合	R3	36.7%	R11	モニタリング指標	院内がん登録
	主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	H30	51.6%	R11	60%	患者体験調査 (問20-9) 都道府県別結果
	医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	H30	68.5%	R11	70%	患者体験調査 (問20-7) 都道府県別結果
	診療報酬のがん患者リハビリテーション料が算定できる体制である拠点病院の割合	R4	83.3%	R11	100%	現況報告書 別紙19
	治療による副作用の見通しを持てた患者の割合	H30	69.9%	R11	80%	患者体験調査 (問20-2) 都道府県別結果
	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合〔再掲〕	H30	54.3%	R11	80%	患者体験調査 (問35-5) 都道府県別結果
	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	H30	28.5%	R11	30%	患者体験調査 (問22) 都道府県別結果
	治療開始前に、妊孕性への影響に関して医師から説明があった人 (40歳未満)	H30	52.0%	R11	80%	患者体験調査 全国値
	希少がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始数	H30 ～ R2 の合	59件	R11	60件	がん情報サービス「希少がん 情報公開専門病院を探す」
	難治性がん (膵がん) 診療を積極的に受け入れている拠点病院等における治療開始割合	R3	65.7%	R11	70.0%	現況報告書 + 院内がん登録
	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う小児がん患者の割合	H30	39.5%	R11	50%	患者体験調査 (問30-2 若 年がん患者)
	長期フォローアップについて知っていると感じた小児がん患者の割合	R元	52.9%	R11	80%	小児患者体験調査 (問44) 全国値
	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	H30	89.0%	R11	90%	患者体験調査 (問12) 全国値
	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができた若年患者の割合	H30	28.5%	R11	30%	患者体験調査 (問22) 都道府県別結果
	医師・看護師・介護職員など医療者同士の連携は良かったと回答した人の割合	H30 ～R 元	78.1%	R11	80%	遺族調査 (問A-1) 全国値
拠点病院におけるACPを含めた意思決定支援を提供できる体制整備)	R5	100%	R11	100%	現況報告書 様式4 (機能別) II 2 (1) ③キ	
県内のがんに関する臨床研究数 (のべ件数)	R5	11件	R11	30件	jRCT (モニタリング指標)	



がんとの共生

	目標項目	現況値		目標値	出典	
最終アウトカム 指標	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合（再掲）	H30	72.7%	R11	90%	患者体験調査（問35-7） 都道府県別結果
分野別アウトカム 指標	がん相談支援センターを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合（一般がん患者）	H30	87.0%	R11	90%	患者体験調査（問31-3） 全国値
	ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合（一般がん患者）	H30	86.9%	R11	90%	患者体験調査（問32-3） 全国値
	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると 感じているがん患者・家族の割合	H30	49.5%	R11	50%	患者体験調査（問30-2） 都道府県別結果
	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分 な情報を得られた患者の割合（再掲）	H30	72.1%	R11	80%	患者体験調査（問15-1） 都道府県別結果
	在宅で亡くなったがん患者の医療に対する満足度	H30 ～R 元	79.1%	R11	80%	遺族調査（問A-2） 全国値
	治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念 したがん患者の割合	H30	5.5%	R11	3%	患者体験調査（問18） 都道府県別結果
	がんと診断されてから病気や療養生活について相談 できたと感じるがん患者の割合〔再掲〕	H30	73.1%	R11	80%	患者体験調査（問12） 都道府県別結果
	身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を 来しているがん患者の割合	H30	71.2%	R11	70%	患者体験調査（問36-5） 都道府県別結果
	がん患者の自殺率 （全国値）	H28	0.04%	R11	0.03%	革新的がん自殺研究推進プロ グラム 厚生労働科学研究費補 助金（がん対策推進総合研究 事業）分担研究報告書
	がん治療前に就学していた者のうち、「がん治療の ために患者が転校・休学・退学したと回答した人」 以外の割合	R元	12.5%	R11	20.0%	小児患者体験調査（問36(1)) 全国値
	人生をまっとうしたと感じていた患者の割合	H30 ～R 元	44.6%	R11	50%	遺族調査（問B） 全国値
	中間アウトカム 指標	ピアサポートを知っているがん患者の割合	H30	22.0%	R11	30%
ピアサポートを利用したことがある人が役に立った がん患者の割合（一般がん患者）		H30	88.1%	R11	90%	患者体験調査（問32） 全国値
がんと診断されてから病気や療養生活について相談 できたと感じるがん患者の割合〔再掲〕		H30	73.1%	R11	80%	患者体験調査（問12） 都道府県別結果
がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受 けたがん患者の割合		H30	63.0%	R11	80%	患者体験調査（問13） 都道府県別結果
拠点病院におけるACPを含めた意思決定支援を提 供できる体制整備〔再掲〕		R5	100.0%	R11	100.0%	現況報告書 様式4（機能別） II 2（1）③キ
治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん 患者の割合		H30	33.1%	R11	30%	患者体験調査（問28） 都道府県別結果
退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに 退職した者の割合		H30	18.1%	R11	15%	患者体験調査（問29-1） 都道府県別結果
治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされ ているがん患者の割合		H30	54.0%	R11	60%	患者体験調査（問26） 都道府県別結果
外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談がで きたがん患者の割合		H30	28.5%	R11	30%	患者体験調査（問22） 都道府県別結果
心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相 談できると感じている患者の割合		H30	39.8%	R11	40%	患者体験調査（問35-6） 都道府県別結果
身体的なつらさがあるときに、すぐに医療スタッフ に相談できると思う患者の割合（再掲）		H30	54.3%	R11	60%	患者体験調査（問35-5） 都道府県別結果
治療開始前に教育の支援等について医療スタッフか ら話があったと回答した人の割合		R元	68.1%	R11	70%	小児患者体験調査（問37） 全国値

	治療中に学校や教育関係者から治療と教育の両立に関する支援を受けた家族の割合	R元	76.6%	R11	80%	小児患者体験調査（問39） 全国値
	がん教育を実施した学校の割合	R4	43%	R11	50%	がん教育実施報告
	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	R4	9.77%	R11	10%	がん教育実施報告
	がん登録情報利用件数（総数・年あたり）	R5	3件	R11	3件	福島県保健福祉部調べ （地域医療課）